

あなたの街区の街路樹、元気ですか～？

ベイタウングリーンサム「街路樹調査」から

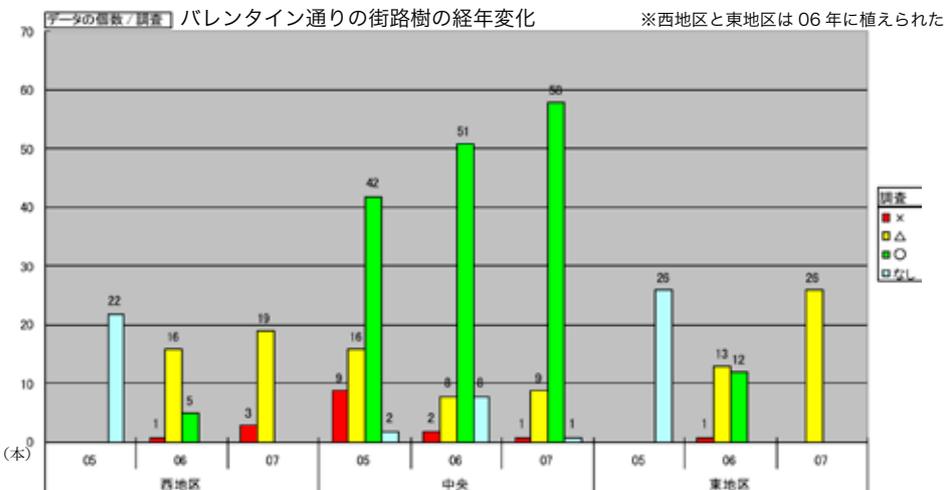
先月号でもご紹介したベイタウングリーンサムによる「街路樹調査」(10月20日実施)の結果が一部まとまりましたので、その内容をお知らせします。なお、この調査結果は、自治会連合会を通して千葉県企業庁へ参考資料として提出されています(11月11日連合会定例会)。

リストには、調査メンバーがベイタウン内のすべての街路樹(約120本)を調べた結果が、木の元気度によって「○」「△」「×」の3段階に分けられて記録され、さらに害虫や欠損部分(枯死などにより撤去されたままになっている箇所)、植枿や支柱の状況なども克明に記されています。

今年は、企業庁から千葉市に移管されるパレンタイム(富士見)通りのベニバナトチノキについて、特に注目し、以下のような報告を行いました。



打瀬小学校前の葉を落としたユリノキ



1番街のイチヨウ

■バレンタイム通り(富士見通り)の街路樹の状況

バレンタイム通りは、植樹された時期によって大きく3地区に分けられる。

第一期/中央地区: メッセ大通りから白帆通りの間(5・6・7・8・9・10・11番街、コア駐車場、15・16・17・18番街)。※若干の時間差あり。

第二期/東地区: 白帆通りから京葉線の間(エリスト、グランエクシア、シティーズフォート)

第三期/西地区: 海浜大通りからメッセ大通りの間(20、21番街、ミラマール、マリンフォート)

【中央地区】については、植樹後10年を経過し、当初は生育がかなり気付きな状態であったが、ここ2年は幹も太くなり花や実もついて、ベイタウンの環境に根付いた感がある。一部枯死した木を植替えるなどしているが、「○」の割合が確実に増えている。ただし、生育した結果、植枿の中が窮屈になってきているのか、幹の根元がふくらんでいる木も見受けられる。

06年に植えられた【西地区】については、すべての木が葉を落とし、明らかに枯れている木が数本、根元からぐらついている木も数本あり、早急に支柱などを取り付ける対策の必要を感じた。少し遅れて植った東地区の木に比べてもあきらかに幹が細い。新緑をつけている木も少なく、葉を落とした木が来年芽吹くかどうか、今後も観察が必要である。場合によっては樹種の変更も？

【東地区】の木はバレンタイム通りでは一番最後に植えられた。植栽直後は元気に生育していきそうだったが、06年に12本あった「○」も全部、要注意の「△」に変わってしまった。台風10号の影響が大きかったと思われる。ただ、新緑を出して花をつけている木もあり、季節はずれとはいえ木に力は残っているとの解釈もできる。こちらも要観察だ。



ふくらんだ根元



グラグラしている



新緑と花、発見!



葉を落とした西地区



花をつけた5月の中央地区

街路樹調査を終えて

まだ、すべての分析にまではいたっていないが、2001年から「街路樹調査」に携わってきたメンバーからは、街路樹が環境に順応してか元気になってきているとの感想が聞かれた。一時心配されたイチヨウもケヤキもモミジバフーも勢いを盛り返している。打瀬東通りのユリノキも5階まで届きそうなほど成長が著しい。10年という時間をかけて木がしっかりと根を張っているのを実感する。しかし、いっぽうで風や塩害の影響で苦戦を強いられている木々も多いのも事実である。

街路樹は夏の日射しを遮るばかりでない。色づいた葉の美しさ、枯れ葉が風に吹き飛ばされるカサコソという音…小さな人工的な「自然」だが、そこには季節の移り変わりや生命の発見がある。子どもも大人もこの身近な自然を見てベイタウンで暮らす。だからこそ1本1本の「街路樹」にこだわり、「×」から「△」へ、「△」から「○」へ、街路樹力をあげていきたい。そしてベイタウンに森をつくりたい。

【佐藤 資料提供: ベイタウングリーンサム】

移管問題を考える会便り

『移管問題を考える会（以後、考える会）』は千葉県企業庁から千葉市へのベイタウンの移管にあたってのさまざまな問題を考える住民の任意組織です（組織とまではいっていないので、単に“集まり”と言った方が適切か）。ほぼ、月に1回のペースで開催されているこの会での話し合いの内容を定期的に報告します。【板東】

行政（千葉県企業庁および千葉市）、住宅事業者、住民それぞれの代表がメンバーとなっている『幕張新都心住宅地区の管理運営のあり方研究会（以後、研究会）』では、これまでの“ごみ輸送システム”や“バレンタイン通り移管”といった各論ではなく、『研究会』の主題でもある、ベイタウンの将来の管理運営機構作りについての具体的な姿の議論が行われ始めた。『研究会』に住民代表として参加している自治会連合会の佐藤さんからの報告によると、まずはベイタウン全体をひとつのマンションとして捉えた場合の管理組合の理事会に相当する組織（意思決定機関）として“住民協議会”を結成し（各番街の管理組合を中心に、有志も募る）、実際の街の維持・管理（具体的には、街灯の電球の交換や、道路の保守なども含まれます）は住民自身には困難なので、住宅事業者が中心となり“管理会社”を立ち上げそこに委託、さらには街としての一貫性を監視する“評議会”を設けて三位一体でこのベイタウンを管理していこうというものだ。現実的には、この3者に行政がどう絡むのか、“住民協議会”に管理組合のないU Rや公社の番街はどう参加するのか、など個別に議論・解決しなければならない課題が数多くあり、まだ構想レベルの段階と言えよう。“管理会社”については、現在、分譲番街のそれぞれに一定割合で存在する店舗を含む賃貸住戸について、今はそれぞれの番街の住宅事業者が管理しているものを、ひとつの“管理会社”に集約することによって、スケールメリットを活かし収益を上げ、その収益を街の維持・管理の原資の一部にする、という構想も提案されている（一括して管理することにより、店舗出店を街の意思に沿ってコントロールできる可能性も出てきます）。さらには、その“管理会社”に住民有志が出資し、リターンとして、利益（お金）でなく、街の管理レベルの向上を得られるようにしよう、というア

イデアも議論されている（これについても出資資格や出資額、出資者の権利、出資リスクなど、多くの解決すべき課題はあります）。

『研究会』では、この構想の具体化に向けた議論を進めるとともに、先般行われた住民アンケートの分析結果を活かした2回目のアンケートや、シンポジウムを企画しているという。『考える会』でも、これらについて、有効な助言や助力ができるよう活動を続けていきたい。移管問題もしくは住民によるタウンマネジメントに興味のある方、また、こういった分野に知識・専門性を持ち、助けて頂ける方、ぜひご参加下さい。次回開催は、以下のとおりです。

日時：12月15日（土）、9:00～11:00

場所：パティオス10番街集会所（バレンタイン通り側から直接进入します）

データに見るごみ輸送システムの問題

■ 18年度ごみ処理量（単位 kg）

事業系（可燃ごみ）	387,780
家庭系（可燃ごみ）	3,263,950
家庭系（不燃ごみ）	164,190
計	3,815,920

（10.5 t/日。事業計画では、60 t/日）

■ 18年度支出

事業費（人件費、光熱水費、車両リース、千葉市事業ごみ処理手数料、他）	9,230万円
保守点検費（設備補修等）	2,121万円
共同溝負担金	660万円
計	12,011万円

■ 18年度収入

千葉市からの委託費	1,754万円
事業系収集手数料	977万円
計	2,731万円

■ 18年度事業収支

2,731万円 - 12,011万円 = ▲ 9,280万円

※事業系ゴミが見込み（40 t/日）と大きく異なり、その分の処理収入の当てが外れているのが赤字の大きな要因です。

バレンタイン通りデッキ（橋）と幕張海浜公園

千葉県企業庁最後のプロジェクトとしてバレンタイン通りが海岸大通りに出るところに橋（デッキ）を架けることはベイタウンニュース8月号でも報じられた通りである。このデッキの先に27ヘクタールの幕張海浜公園D・E・Fブロックがあり、再整備検討が行われている。千葉県経済政策課産業地域整備室が中心となって2007年3月まで研究会が持たれたが、その後中断状態である。そこでベイタウン住人の数名がメンバーとなっているNPOが緩衝緑地帯の間伐とみどりの教室として県民市民参加のプログラムを組んでいることをご存知だろうか。コアに掲示を出してあるが、あまり関心がないようだ。橋が架かると幕張海浜公園がわたしたちのベイタウンにとっても身近なものとなる。あの公園は暗くて怖い感じがすると思うご意見も多いが、現にホームレスの人々が住みつき景観、ゴミなどで問題視されている。間伐作業で林の小道を作り、10数件のホームレスの場所が今1箇所減った。みどりの教室の第2回が11月23日に開かれ、15名が参加したので、その模様をご報告する。

市川のみどりと花の大学の主宰、小山真澄さん夫妻が講師となって、群馬県の杉植林プロジェクトの経緯とスギ花粉の関係や、市川の市民ボランティアが千葉市の緑地帯の開発整備にチームを作って活動している事例の講義があり、午後はマリノフォートの対面にある緩衝緑地の現場で実習が行われた。林の実態調査に参加者が加わり、先ず土を80cm掘って土壌の調査、これは盛り土でブルドーザーで固められており、乾燥してAゼロ層（腐葉土層）やA1層（やわらかい土壌）が5センチもなく、虫が少なく、また下層植生（下草）

の種類が9種類しかなくて樹が育ちにくい環境であることもわかった。詳しくはシティーズフォートの広木さん（千葉大園芸卒）が次回報告してくれる予定であるが、27ヘクター



土壌調査の様子

ルの公園は宝の持ち腐れ状態である。手を入れれば防風林としての機能も増し、子どもたちの虫取りに恰好の場所となるはずだ。すでに間伐の小枝を集め土壌生物の棲めるアパートを3箇所作ってある。

みどりの教室は5回のスケジュールで、次回の教室は12月15日（土）10時から幕張海浜公園入り口（見浜園の歩道橋を渡ったビーチテラスの向かい側）・駐車場の海側の管理棟集合で行われる。デッキが平成21年度に完成すれば、ベイタウンの奥座敷として、街山（里山に対して都市公園の一部としての自然環境）として利用できるはずである。11年前の花博幕張海浜公園のD・Eブロック海側でこれまで県民参加のこんな公園が欲しいなのワークショップや公園祭りが何回か開かれたが、本格的な再整備にわたしたちベイタウンの住人もアイディアを出して将来の子どもたちの施設としても計画に関与して行きたいものである。

【8番街 辻さんよりの寄稿】

大規模修繕工事体験談 (2)

前回は大規模修繕工事について生活者としての体験を思い付くままに書いたが、意外にも多くの方から問い合わせや感想をいただいた。これから工事を行う番街の方にとってそれだけ関心が高いのだろう。今回の体験記はいよいよ工事が開始され、ベランダが使えなくなったことでの苦労話などを紹介。

【松村】

いよいよ足場の組み立てが終わり、ベランダ部分の工事が始まることになった。工事は大まかに言って、点検、洗浄、補修、シーリング・塗装の順に行われる。点検は外壁部分にヒビはないかなど目視と壁をハンマーで「コンコン」と叩いての検査になるので、ベランダの荷物を移動させるなどの必要はないが、その後の高圧水による洗浄の際はベランダに物を置いておくことはできない。どんなものなら置いておいても支障がないか。これは足場ができたところで工事業者が各戸のベランダを見て通知してくれた。

我が家では引っ越し以来使う予定のないものをベランダのコンテナに収納してあったが、当然これはダメ。この整理が大変だった。どうしても必要なものは工事期間中室内に保管し、必要ないものはマンション外に設置された巨大なゴミコンテナに入れて処分してもらおう。粗大ゴミも無料で捨てられるので、この機に不要なものはどんどん捨てる。各戸から捨てられるゴミで、コンテナはすぐ満杯になり。順番待ちができるほどだった。

心配していたエアコンの室外機はホースの長さが適当にとってあったためそのまま工事ができることになったが、設置の状態によっては各戸で18000円ほど負担して一時移動

させることになる。もうひとつ、入居時にオプションでベランダの床にタイル状のものを敷いたが、これが難物だった。タイル状なのでバラバラにして片づけることはできるが工事期間中置いておく場所がない。仕方なく処分するという方もいたが、我が家では悩んだ末、室内にスペースをとって保管することにした。再度敷き直すときのことを考え、それぞれのタイルに番号を付け、配置順をデジカメに記録して撤去した。

これで準備は万端。オプション負担なく工事が乗り切れると思ったところ、意外な伏兵がいた。アミ戸だ。高圧洗浄をするためアミ戸は取り外すことになる。しかし10年もたったアミ戸は容易に外れない。ベランダ窓のように足場のあるところはなんとかドライバと潤滑剤を使って外したが、外側に足場のない窓部分のアミ戸は外せない。それらは工事業者の方で取り外してもらったが、どうしても2枚外れないものがあり、結局オプション費用を負担して外すことになった。アミ戸も室内で保管しなければならず、工事期間中室内は足の踏み場もない状態だ。

生活用品の中には期間中共同保管することで工事を快適に乗り切れるような荷物も多くある。管理組合等で保管場所をマンション内

やコンテナ保管などの利便を図ればもっと期間中の生活は楽になるのではないかと思った。

いよいよマンション全体が半透明の幕で覆われ、工事が始まると考えもしなかったことが多く出てきた。カーテンが閉められているので、室内はいつも暗く、外の音も聞こえない。困ったのは外の天気分からないこと。外出しようと窓を開けても傘がいるののかも分からず苦労した。



工事に伴い設置されたゴミ用コンテナ（左が住民用）。ベランダの整理が始まった頃はこのコンテナが1日でいっぱいになった。



ベランダに敷かれていたタイルを室内に移すのに、タイルにチョークで番号を書いて敷き直すための記録した。デジカメが大いに活躍した。

12月のコア・イベント

12/16
(日)

第13回 ベイタウン音楽会 ウィンターコンサート

時間：10:00 開演

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

ピアノ・ヴァイオリン・ファゴット・ベル・歌・合唱・

ゴスペル・アンサンブル・・・♪

たくさんのお音に出逢えるステキな1日です♪

皆様のご来場をお待ちいたしております 主催：ベイタウン音楽愛好会

12/22
(土)

寺子屋工作ランド

内容未定

時間：9:30～

場所：ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの：小刀、工作用具

参加費：50円（材料費）見本をコアの掲示板に展示しています。

12/23
(日)

第57回ファツィオリの会

時間：9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

月に一度のフルコンサートグランドピアノ「ファツィオリ」を弾ける会です。

ピアノ以外の楽器の演奏や歌も大歓迎です。

非公開での演奏も受け付けています。

申し込み締め切り日：12月16日（日）

連絡先：TEL/FAX：043-211-6821（笹本）

今年でひとめぐり 第11回「年男男女撮影会」

ベイタウンニュース恒例「年男男女撮影会」の参加者を募集します。来年の干支は子（ね・ねずみ）。子年生まれの方が集まって記念写真を撮り、ベイタウンニュース新年号の表紙を飾ります。

小学校5年生（12歳）から上は72歳、84歳、年齢は何歳でも結構ですが、資格があるのは子年生まれの方だけ。子年生まれであることとベイタウン住民であることが条件です。沢山の方の参加をお待ちします。撮影日当日、直接集合場所へおいでください。

撮影会は今回で第11回。毎年積み重ねてきて、とうとう十二支の干支をひとまわりします。記念の第11回撮影会に是非どうぞ。

日時：2007年12月15日（日）午前11:00

集合場所：ベイタウン・コア アトリウム

ウィンターフェスティバル

イルミネーションでベイタウンを飾ろう

窓辺やベランダをイルミネーションで飾ってみませんか。ボリュームや豪華さを競うものではありません。

展示期間：11月中旬～12月末日

期間中商店会がコンテストを行います。優秀作品には商品を差し上げます。

最優秀作品：3万円、優秀作品：2万円、アイデア賞：1万円

ベランダ・窓辺等を写真に撮らせていただきます。

コンテスト発表：12月20日 商店会店頭

主催及び問い合わせ先：自治会連合会、商店会